

第2回 西木地域審議会会議録

一、日 時 平成18年6月7日(水)午後2時

一、場 所 「西木総合開発センター 集会室」

一、会議に出席した委員

布谷政男	小林清司	武藤晟平	大蔵定臣
小林康次郎	橋本典子	佐々木茂徳	鈴木順子
門脇藤子	赤倉羊子	鈴木重蔵	藤井けい子
浅利重富美	橋本米彦		

一、会議を欠席した委員

無

一、会議に出席した職員

西木地域センター長	門脇主彦	桧木内出張所長	田口正明
総務部次長	田口威徳	総合窓口課長	新山敦晃
企画政策課長	倉橋典夫	地域振興課長	伊藤寛
企画政策課参事	藤村好正	総合窓口課	浅利喜一郎

一、会議次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 諸連絡
- 4 議事
 - (1) 総合計画アンケート調査結果について
 - (2) 総合計画に関する提言について
 - (3) 行政改革に関する提言について
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
- 5 閉 会

一、総合窓口課長が開会宣言する。

(午後 2 時)

一、会長あいさつ

一、諸 連 絡 企画政策課長

一、議 事

一、議 長 それでは、(1) 総合計画アンケート調査結果についてご説明願います。

一、企画政策課長 次第では(1) 総合計画アンケート調査結果となっているが、説明者が別の会議に出席しているので、(2) の総合計画に関する説明からお願いしたい。

一、議 長 (2) の総合計画について説明願います。

一、企画政策課長 (説明要旨) 現在総合計画の策定作業を進めている。構成は、3編から成っている。第1編序論、第1章が総合計画の策定に当たってということで、計画策定の目的・計画の役割・計画の構成と期間となっている。

第2章が総合計画策定の背景ということで、1が仙北市誕生までの経緯、2が仙北市を取り巻く現在の社会状況ということで、一つ目が少子高齢化の急速な進展、二つ目が環境問題の深刻化、三つ目が高度情報通信社会の到来等、四つ目が社会経済システムの変化、五つ目が地方分権の進展と行財政改革。3がまちづくりの課題ということで、これについては、今回実施したアンケート調査の結果を分析して、調査結果から得られたまちづくりの課題を記載したいと考えている。この部分については、現在集計中である。

第2編 基本構想、これが全体の計画の根幹をなす部分であるが、第1章に仙北市の将来像ということで、「観光産業を活かした北東北の拠点都市を目指して」これはご承知のとおり合併協議委員会で作成された、地域建設計画のキャッチフレーズにあるとおりで、基本的には地域建設計画にもられた基本理念を継承して参りたいということで、同じキャッチフレーズとしている。

第2章のまちづくりの基本理念についても、新市建設計画基本理念を踏襲した形でここに記載している。一つ目は「観光産業を活かしたまちづくり」、二つ目が「歴史と文化が息づくまちづくり」、三つ目が「ふるさとを愛し誇れる人づくり」、四つ目が「誰もが安心して暮らせるまちづくり」この4つの基本理念をここに記載している。

第3章の将来人口ということで、これも新市建設計画に記載してあるとおりで、平成17年に国勢調査が実施されており、その数字を活かしながらここに将来人口というものを記載している。

第4章に地区別の目指すべき方向ということで、合併した旧3町村のそれぞれの地区の、今後目指すべき方向についてここに記載したいと考えている。そういう意味ではまだ白紙の状態だが、この地域審議会の皆様のご意見、また地域ごとの集計結果等を踏まえて、それぞれの地区の目指すべき方向をここに示したいと考えている。

第5章が土地利用、一つ目が「自然環境保全ゾーン」、二つ目が「交流拠点ゾーン」、三つ目が「農業生産ゾーン」、四つ目が「居住・生活ゾーン」と4つの土地利用ゾーンで、これについても新市建設計画にある土地利用計画をそのまま基本的には記載している。

第6章施策の大綱、これが計画の基本的な柱になるものと捉えている。大きく6つの項目に分けている。一つ目が「歴史と自然が織り成す交流拠点のまち」、二つ目が「すべての生命を慈しむ健康福祉のまち」、三つ目が「特色ある資源を活かした産業創造のまち」、四つ目が「安心・安全で潤いのある生活環境のまち」、五つ目が「明日を担う人材を育む教育文化のまち」、六つ目が「共に参加し行動する市民協働のまち」この6つの大きな項目を柱として、全体の計画を構成したいと考えている。

第7章計画達成のために、ここでは行財政改革とか、新しい地方分権のながれのなかで、今後の行政がどうあるべきかを明記したいと考えている。基本構想については、以上の7章によって構成したいと思っている。

第3編基本計画については、基本構想の部分もさらに項目ごとに分けて、具体的な施策を講じたいということで、一連には基本構想第6章に締めております施策の大綱ごとにそれぞれ項目別に現状と課題、主要施策、主要事業、そして今後5年間あるいは10年間の目標で、成果の指標を項目ごとに示したいと思っている。以上、内部的にまだ検討されていないが、若干の変更があるものと思っているまた、地域審議会の皆様のご意見を伺って変更していきたいと思っている。

一、議長 アンケート結果について説明願います。(1)と(2)一括して議案とします。

一、企画政策課長 (説明要旨) 4月から5月上旬にかけてアンケート調査を実施した。配布枚数は2000枚。回収が951枚。回収率47.6%。回答者女性56%。男性44%。アンケート調査項目ごとに特徴について説明する。調査項目は職業・世帯人数・住んでいる地域・居住年数・居住理由・住みたいか・地域の暮らしについて・住ん

で満足している項目・不満な項目・交通機関・暮らしやすいか・財政運営について・観光へのかかわりについて・市への期待について・今後のまちづくりについて・まちづくりへの住民参加等である。

- 一、議 長 アンケート結果について、どのように受け止めているか。
- 一、企画政策課長 通常の回収率が50%あれば良い方だといわれているが、おしかりを受けるかもしれないが、まあまあと感じている。
- 一、議 長 住み続けたいかというアンケートについて、各地域ごとに集計できないか。
- 一、企画政策課長 地域ごとの集計結果を報告できればと考えている。
- 一、橋本(米)委員 下水道について、公共マスを建物まで配管する、またはトイレまで設置すれば加入率が上がるのでは。
- 一、センター長 公共マスが遠い・近いはある。担当課に聞かないと何ともいえませんが、経費の面・財政的な面で難しいものと思う。
- 一、橋本(米)委員 田沢湖と角館の病院を一つにできないか。
- 一、企画政策課長 すぐに一つにというのはできないと思う。それぞれの病院が利用されているし、田沢湖は平成15年に改築されているし、角館は改築の必要があると思う。また、組合病院の改築の件も絡んで、それぞれの病院の位置づけというものや、医者の確保といった様々な問題が絡んでくると思う。
- 一、橋本(米)委員 田沢湖病院も救急指定を受けているか。
- 一、次 長 指定されており、病状によっては応急処置をして他の医療機関へ移送している。
- 一、センター長 医師不足は現実であり、なかなか余裕がなくスムーズに行かない状況である。
- 一、橋本(米)委員 総合病院として、権威のある医者をつれてきて活性化につなげては。
- 一、次 長 観光客も含めた形で検討し、計画を進めたい。
- 一、議 長 後で意見交換もあるので、次の会は、テーマを絞って、諮問という形でお願いしたい。また、最近限界集落という言葉を目にしたことがあるが、行政としてはどのように面倒を見ていくのか。
- 一、小林(康)委員 その前に、将来人口はどのように見ているか。
- 一、企画政策課長 定住人口は3万人、流入人口は1万人で推移してほしいが、少子高齢化で2万人というのも予想される。
- 一、武藤委員 全県を見ても仙北市の高齢者率が高いと思う。
- 一、小林(康)委員 仙北市での所得はどうなっているか。
- 一、次 長 給与所得の率が高い。農業所得はあまり出てこないのが現状のよ

うだ。

- 一、小林(康)委員 人口は、3万人を崩さない努力をお願いしたい。
- 一、藤井委員 人口減少の歯止めは、いろいろな話し合いが必要だと思う。いろんな方と手を携えて、今までになかった喜びを実感できることも必要なのでは。
- 一、企画政策課長 藤井委員の意見を参考にする。西木地区の役割は、重要なものと受け止めている。
- 一、センター長 どうすれば増えるのか、今まではあまり良い結果が出ていないが、いろんな方の意見を聞きながら進めたい。
- 一、小林(康)委員 「観光産業を活かした北東北の拠点都市を目指して」のキャッチフレーズは大変良いこととは思いますが、これを目指すための青写真はありますか。
- 一、企画政策課長 率直に申して今はない。今までのものを見直しながら、皆様のご意見を聞きながら具体的に示していきたい。それぞれの地域の持っているものが違うため意思統一が難しいものはあると思う。
- 一、小林(康)委員 民間では思いつかないものがある。何かを示してほしい。また、一杯飲んだ中では、企業誘致のスタッフチームを作ろうという話が出た。行政側でもそういう話に積極的に取り組んでほしい。
- 一、センター長 解った。
- 一、武藤委員 山は荒れ放題となっている。若い人もいない状況である。温暖化対策もあり、外材の輸入は減る傾向にあると思う。
- 一、センター長 山林については、関心がないように思える。難しい問題だと思う。
- 一、小林(清)委員 市としてイベントの計画はあるか。種苗交換会の開催を計画したらどうか。
- 一、企画政策課長 100キロマラソンは休止。田沢湖マラソンもスポンサー不足で苦慮している状況である。
- 一、議長 農協の代表としては如何か。
- 一、大蔵委員 米の取り扱い全国1の農協ではあるが、米価が下がっているため農家の所得が上がってこない、行政の後押しをお願いしたい。
- 一、センター長 担当課で検討中である。
- 一、橋本(典)委員 アンケート結果の集計について、地域ごとの集計結果は是非公表してほしい。特に西木地区の満足度等は教えてほしい。また、限界集落については桧木内地区では特に感じている。PTA等で仕事を休むとやめさせられる雰囲気もあるので、是非何らかの手だてがほしい。
- 一、企画政策課長 集計結果について、次の審議会で示したいと思う。

- 一、大 蔵 委 員 企業誘致は、是非検討していただきたい。
- 一、佐々木委員 合併したら何もだめ、何も見えないという空気が漂っているように感じるが、計画が実施に移されれば良くなるのか。
- 一、センター長 私たち職員もとまどっている面はあるが、自信を持って少しずつ進んでまいりたい。
- 一、赤 倉 委 員 地域ごとに到達目標というものを決め、また計画の中で選別して進めたら如何か。
- 一、センター長 総合計画の中で示されるものと思っている。
- 一、議 長 暫時休憩 (午後4時1分)
- 一、議 長 会議を再開 (午後4時11分)
- 一、浅利委員 「観光産業を活かした北東北の拠点都市を目指して」を達成させるため、観光客を回遊させることが必要。田沢湖は観光であり、角館は歴史である。それらの接着剤となるのが西木の自然と考える。現在は、観光客の方がむしろ情報を持っている。行政が音頭をとってアドバイスしてほしい。観光客の立場に立った観光を目指したら如何か。
- 一、企画政策課長 土屋とも子さんという方は、田沢湖を拠点として北秋へ行ったり、美郷へ行ったりしているので、そういう動きも参考にしたい。
- 一、鈴木(重)委員 西木村時代にカジカの里というものを聞いたことがあるが、どのようなになっているのか。また、原種の森づくりはどうなっているのか、解る範囲でお願いしたい。
- 一、センター長 担当の方に確認してみないと解らない。
- 一、鈴木(重)委員 そういうものをやることによって、西木のテーマであった水・空気・緑といったものが浮かび上がって、自然につながるのだと思う。西木の目指す方向というものにも良い発想ではないかなと思う。
- 一、高橋補佐 (農林課)前は原種の森、現在はきずなの森と名称が変更になっている。所在地は、坂本の牧場の一団地、東下戸沢の桧木内又沢林道から入った一部になっている。面積は、25ヘクタール、将来的には100年の森または200年の森にして、西木の宝にしたい。
- 一、門脇委員 子ども達が夜帰るとき外灯がなくて危ない箇所があるが、設置してもらえないか。
- 一、センター長 場所を教えていただいて検討する。
- 一、鈴木(順)委員 平成19年で上桧木内小学校が統合となるが、跡地の利用はどのようなになるか。
- 一、センター長 地域の皆さんのご意見を聞いて進める。また、教育委員会にも伝えている。

- 一、鈴木(順)委員 冬期間に集まる施設もほしいので、検討していただきたい。
- 一、議 長 それでは次に(3)行政改革に関する提言について説明願いたい。
- 一、藤村参事 (説明要旨)行政改革に関する提言について、昨年3月に総務省で、全国の自治体・県も含めた自治体に、17年度中に5年後、平成22年を目標とした改革プランを作って住民に公表するという指針が出されている。それによって作成した。この基本となっているのは、合併協議会で策定された新市建設計画にもられている項目が基になっている。この行政改革そのものは、地域審議会の本来のテーマということではないが、このあと建設計画の中でうたわれているものから抜き出したということで、本来であれば行政改革大綱というものがあって、その中から集中改革プランというものが作られるものだと感じている。行政改革大綱については、総合計画と同じ時期に、今年9月を目途に作成したい。集中改革プランを見ていただきいろんな意見をもらえればと思って、今日の議題とした。上げている項目は、集中改革プランの位置付け、事務事業の再編・整理、廃止・統合、民間委託等の推進、定員管理の適正化、給与構造の改革をはじめとする給与の適正化、市の出資法人等の見直し、経費節減等の財政効果、地方公営企業の経営健全化。従来の行政改革は一般会計の部分について主に取り組んでいたが、今回の集中改革プランは、特別会計も含めた形の行政改革としたい。
- 一、橋本(米)委員 指定管理者制度導入により、どの程度の節減となるか。
- 一、藤村参事 現在ここに載せてある施設は、管理委託している施設である。具体的な数字はつかめていない。平成21年度からは、今の受託者以外にも広めていきたい。その時点で効果が現れるものと思っている。
- 一、橋本(米)委員 一般税の滞納が1割・健康保険税は2割2分もあるが、税の確保について、努力してほしい。
- 一、センター長 いろいろな方法で努力はしている。
- 一、議 長 他にありませんか。(4)意見交換に入りたい。
- 一、橋本(米)委員 除雪のモラルがない。上桧木内地区では、除雪のできていない地区がある。また、道路整備もされていない箇所もある。
- 一、センター長 市道・赤線・農道という種類があるが、担当課と話しながら進める。
- 一、橋本(米)委員 これからは、どの路線も同じように整備してほしい。
- 一、企画政策課長 次の地域審議会は、7月上旬を予定している。委員の意見でもめるように、諮問の形としたい。

- 一、鈴木（重）委員 内陸線を利用して来たいが、駅までの送迎をしてもらえないか。
- 一、企画政策課長 課題として検討したい。
- 一、議 長 これをもって第2回西木地域審議会を閉じる。（午後4時55分）